



警察事務

2021年度新規採用職員インタビュー

「警察官を支え、福島を支える」

所属

南会津警察署 会計課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私は主に警察署の会計課で、落とし物を拾ってくださった方や、落とし物をしてしまった方の届出の受理を担当しています。落とし物を無事に返還できたとき、落とし主の喜ぶ姿にはやりがいを感じ、達成感もあります。

警察事務は他にも、職員の福利厚生や給与、制服の管理など様々な業務があり、どれも警察組織には欠かせない業務です。警察組織を支えることで「福島を支える力強い警察」の実現に繋がると信じ、仕事に誇りを持ち、日々頑張っていこうと思います。

Q. 警察事務として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 警察の仕事は、県民の方の理解と協力があって成り立つ仕事です。訪れやすい、相談しやすい警察署にしていきたいことで、県民の方からの協力も得られると思います。そこで私にできることは、県民の方への親切・適切な対応を心掛けることです。そのために様々な経験を積み、知識を深め、県民の方々の役に立てるような仕事をするのが目標です。



↑落とし物をした方の受付の様子



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 中学生の頃に自転車の盗難に遭い、届出をするために訪れた警察署での対応がとても親切でした。初めは警察官だと思っていましたが、事務職員だということを知り、興味を持ったのがきっかけで、警察事務職員を志望しました。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「趣味は歩くこと」「おいしいもの」「一人暮らし」「親しき仲にも礼儀あり」「視野を広く持つ」



↑ 給貸与品(制服)の配付の準備



↑ 拾得物の受理の手続き

Q. 「趣味は歩くこと」について教えてください。

A. 私は歩いているときに周りの景色を見たり、新しいものを見つけたりすることが好きです。県内には、まだまだ行ったことのない場所が数多くあります。県職員ならではの県内異動により、様々な職場で勤務してみたいです。

Q. 「視野を広く持つ」について教えてください。

A. 私は高校生の頃から視野を広く持ち、先を見据えて行動することを自分の課題としています。経験を積んだ先輩方からは、仕事のことはもちろん、自分とは違う考え方を学ぶことができます。上司、先輩方からたくさんのことを学び自分の成長へと繋げていきたいです。

Q. どうやって仕事を覚えていきますか。

A. 私は上司や先輩方に教えてもらったことは、紙に書き記しています。口頭で教えてもらったことは、何か形にしておかないと時間が経ってから曖昧になってしまうこともあるので、言われたことはその場でメモをするようにしています。業務マニュアルもありますが、自分のわかる言葉で書くことで、理解が深まり、覚えやすくなるのではないかと思います。